

## 着任のご挨拶

シンガポール日本商工会議所 理事  
TOKIO MARINE INSURANCE SINGAPORE LTD  
Managing Director  
秦 浩之



シンガポール日本商工会議所の皆様、この度、理事および2024年度金融・保険部会の部会長を務めさせていただくことになりました東京海上シンガポールの秦 浩之と申します。シンガポールおよびブルネイにおける損害保険事業を担う現地法人のManaging Directorとして、2024年4月に当地に赴任いたしました。この場をお借りして一言ご挨拶を申し上げます。

私は1994年に東京海上に入社し、船舶保険をはじめとする企業営業や経営企画部門、海外駐在等を経験し、直近では弊社海外営業の企画・支援業務に従事しておりました。海外駐在は、ワシントンD.C.・ニューヨーク・ドイツ（デュッセルドルフ）に続き4度目の赴任となります。

弊社は1977年にシンガポール法人を設立し、主に当地に進出されている日系企業向けの保険事業を展開してまいりました。2007年にシンガポールの保険会社を買収し、翌年2008年の経営統合を経て、現在に至っております。今では日系企業市場に加えて、シンガポールローカル市場における事業展開も行っております。

これまで出張という形でシンガポールを訪れたことは幾度かございましたが、実際にこの地に赴任して感じたことは、政府の強いリーダーシップがこの国の発展・繁栄に多大な貢献をしてきたということです。特にこの20年間同国を率いてきたリー・シェンロン元首相の功績は非常に大きなものだと思います。ちょうど30年前に妻とシンガポールを初めて訪れた時、1シンガポールドルは70円台、超高層ビルはほんの数えられるほどで、マーライオンはその後ろ姿を眺め、セントーサ島はビーチと昆虫館や自然観察園等のあるゆったりとした場所、という印象でした。今や1シンガポールドルは120円に迫り、シンガポールのシンボル・マーライオンに並ぶほどのランドマークとなったマリーナ・ベイ・サンズの登場。この度の首相交代により、ローレン

ス・ウォン首相が新たな政権運営の重役を引き継ぐこととなりますが、今後どのようなリーダーシップを発揮していくのか大変興味深く感じております。

私は2017年～2020年にかけて、欧州大陸日系営業統括業務のためドイツに赴任しておりましたが（担当地域は欧州・ロシアの計33カ国）、イギリスのEU離脱（Brexit）に向けた動きの真ただ中であり、弊社のみならず欧州大陸における企業は大きな影響を受けることとなりました。弊社はそれまでイギリスで取得した保険事業の免許を使用して、欧州大陸事業を営んでおりましたが、Brexitの影響を受け、ルクセンブルクに新会社を立ち上げることとなりました。私たちの日々の企業活動がまさに国の政策と密接に関わっていることを改めて実感した経験でした。シンガポールにおいても、新たな政権運営により各業界の企業活動にどのような影響が生じていくのか、しっかり注視してまいりたいと思います。

私の所属しております金融・保険部会では、新たなメンバーでの顔合わせおよび懇親会を無事開催し、新年度をスタートいたしました。毎年スイスのビジネススクールが発表しております世界競争力ランキングでは、政治・経済・ビジネス環境などの項目が評価され、シンガポールは今年4年ぶりに首位（日本は67カ国・地域中38位）となりました。当地に多数おられる専門家の皆様には遠く及ばない部分も多々あるかと思いますが、今後もシンガポールにおける情報収集に力を入れ、当地における日系企業に少しでも多く貢献したいと思っております。今年も明るく、楽しく、そして、強い、金融・保険部会として活動し、シンガポール日本商工会議所会員の皆様と情報交換、意見交換をさせて頂ければと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、会員企業の皆様のご健勝とご発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。